



As-me ESTELLE

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成24年11月13日

上場取引所 大

上場会社名 As-meエステール株式会社

コード番号 7872 URL <http://www.as-estelle.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 丸山 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 渡邊 正直

TEL 03-5777-5120

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	14,377	6.1	974	13.1	1,066	21.5	646	117.6
24年3月期第2四半期	13,546	1.4	861	99.4	877	76.3	297	119.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 565百万円 (212.1%) 24年3月期第2四半期 181百万円 (81.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	57.95	—
24年3月期第2四半期	26.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	31,293	10,765	34.4	964.93
24年3月期	31,361	10,422	33.2	934.22

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 10,765百万円 24年3月期 10,422百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,830	2.2	2,757	9.7	2,900	13.0	1,700	54.4	152.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	11,459,223 株	24年3月期	11,459,223 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	302,785 株	24年3月期	302,635 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	11,156,463 株	24年3月期2Q	11,156,738 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や個人消費に穏やかながら改善が見られ、総じて景気は緩やかな回復基調にありました。ただ、足許では、欧州景気の低迷がアジア経済に浸透しはじめ、世界経済を牽引してきた中国における景気減速などの外部要因により景況感は悪化しており、個人消費では、消費増税や景気先行きに対する警戒感から選別的消費が強まっているなど、全体として足踏みの状態となっております。

当社グループの当四半期における店舗展開としては、当社では6店舗を出店、3店舗を閉鎖し、当四半期末店舗数は376店舗（前年同期末377店舗）となり、メガネ小売のキンバレー(株)では2店舗を出店、1店舗を閉鎖し、41店舗（前年同期末40店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、既存店売上の改善などにより143億77百万円（前年同期比6.1%増）となり、営業利益は9億74百万円（同13.1%増）となりました。経常利益は、前期に海外子会社において計上した為替差損が当期になかったことなどから10億66百万円（同21.5%増）となりました。四半期純利益は、固定資産の減損損失の減少等により6億46百万円（同117.6%増）となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは「宝飾品」及び「眼鏡」であります。 「眼鏡」の全セグメントに占める割合が低く、重要性に乏しいため、第1四半期連結累計期間よりセグメントごとの売上高及び利益又は損失について記載しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末の58億67百万円より2億23百万円減少し、56億44百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは7億67百万円のプラス（前年同期は5億49百万円のプラス）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益10億46百万円、仕入債務の増加2億72百万円及び減価償却費2億29百万円の資金増加と、たな卸資産の増加3億99百万円、法人税等の支払額2億54百万円及び負ののれん償却額1億63百万円の資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは2億15百万円のマイナス（前年同期は3億8百万円のマイナス）となりました。これは主に敷金保証金の返還1億93百万円及び投資有価証券の売却71百万円の収入と、固定資産の取得3億23百万円、子会社設立による出資80百万円及び敷金保証金の差入40百万円の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動におけるキャッシュ・フローは7億76百万円のマイナス（前年同期は1億23百万円のマイナス）となりました。これは主に社債の償還3億円、配当金の支払2億23百万円、長期借入金の減少1億48百万円（純額）及び短期借入金の減少69百万円（純額）の支出によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想については、外部環境が不透明な状況にあることから、現時点では変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結累計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,167	5,944
受取手形及び売掛金	2,649	2,467
商品及び製品	8,539	8,877
仕掛品	1,553	1,644
原材料及び貯蔵品	1,849	1,819
その他	363	403
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	21,121	21,155
固定資産		
有形固定資産	2,248	2,332
無形固定資産	425	379
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,878	4,708
その他	2,690	2,720
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	7,565	7,427
固定資産合計	10,239	10,138
資産合計	31,361	31,293
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,777	4,049
短期借入金	1,090	1,021
1年内返済予定の長期借入金	4,014	3,799
1年内償還予定の社債	460	270
未払法人税等	412	429
賞与引当金	380	401
その他	1,442	1,346
流動負債合計	11,577	11,317
固定負債		
社債	120	10
長期借入金	6,608	6,674
退職給付引当金	1,402	1,443
役員退職慰労引当金	423	463
関係会社事業損失引当金	2	2
資産除去債務	46	52
負ののれん	654	490
その他	103	72
固定負債合計	9,361	9,210
負債合計	20,938	20,528

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,384
利益剰余金	5,420	5,843
自己株式	△146	△146
株主資本合計	10,229	10,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318	251
為替換算調整勘定	△125	△139
その他の包括利益累計額合計	193	112
純資産合計	10,422	10,765
負債純資産合計	31,361	31,293

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	13,546	14,377
売上原価	5,144	5,513
売上総利益	8,401	8,863
販売費及び一般管理費	7,540	7,889
営業利益	861	974
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	34	34
負ののれん償却額	180	163
為替差益	—	0
その他	51	45
営業外収益合計	266	244
営業外費用		
支払利息	150	131
為替差損	73	—
その他	26	21
営業外費用合計	250	152
経常利益	877	1,066
特別利益		
投資有価証券売却益	—	37
受取補償金	2	—
特別利益合計	2	37
特別損失		
固定資産除売却損	23	24
店舗閉鎖損失	5	4
減損損失	253	28
関係会社整理損	—	0
投資有価証券評価損	10	—
特別損失合計	294	57
税金等調整前四半期純利益	586	1,046
法人税等	288	399
少数株主損益調整前四半期純利益	297	646
四半期純利益	297	646

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	297	646
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△86	△67
為替換算調整勘定	△29	△13
その他の包括利益合計	△115	△80
四半期包括利益	181	565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181	565
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	586	1,046
減価償却費	197	229
減損損失	253	28
負ののれん償却額	△180	△163
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	31	40
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3	40
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14	20
受取利息及び受取配当金	△34	△35
支払利息	150	131
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△37
投資有価証券評価損益 (△は益)	10	—
関係会社清算損益 (△は益)	—	0
固定資産除売却損益 (△は益)	—	20
売上債権の増減額 (△は増加)	△269	182
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△39	△399
仕入債務の増減額 (△は減少)	117	272
未払金の増減額 (△は減少)	△72	△43
その他	61	△216
小計	832	1,115
利息及び配当金の受取額	34	35
利息の支払額	△148	△128
法人税等の支払額	△167	△254
営業活動によるキャッシュ・フロー	549	767
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△103	△1
投資有価証券の売却による収入	—	71
子会社出資金の取得による支出	—	△80
関係会社の整理による収入	—	6
固定資産の取得による支出	△355	△323
固定資産の売却による収入	—	1
敷金及び保証金の差入による支出	△128	△40
敷金及び保証金の回収による収入	320	193
その他	△42	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△308	△215

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	33	△69
長期借入れによる収入	2,530	2,100
長期借入金の返済による支出	△1,958	△2,248
社債の償還による支出	△508	△300
割賦債務の返済による支出	△29	△22
リース債務の返済による支出	△13	△14
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△178	△223
財務活動によるキャッシュ・フロー	△123	△776
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	115	△223
現金及び現金同等物の期首残高	3,874	5,867
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,990	5,644

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。